

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	C-7-1
事業名	水産業共同利用施設復興整備事業
事業費	150,982千円（国費103,800千円） （内訳：水産加工処理施設建設費150,982千円）
事業期間	平成24年度～平成25年度
事業目的	東日本大震災により、甚大な被害を受けた水産業において、日立市が策定した「日立市震災復興計画」等に基づく水産加工流通施設の整備について、国及び市が支援することにより、地域水産業の復興を目的としている。
事業地区	日立市久慈地区
事業結果	<p>施設名：しらすパーク</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業主体 久慈浜しらす事業協同組合 2 工事名称 久慈浜しらす事業協同組合 新社屋・水産加工施設新築建設工事 3 工事場所 日立市留町字原後1039番1、1040番1 4 工期 平成25年2月1日～平成25年5月31日 5 主要用途 工場（水産加工）、事務所 6 建築面積 447.86㎡ 7 延べ床面積 611.15㎡ 8 建築物の構造 鉄骨造 9 建物階数 地上2階
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>ア 主な申請要件及び採択要件に対する評価は下記のとおりである。</p> <p>(7) 事業開始5年後までに、加工・販売する商品の現材料となる国産水産物について、茨城県内で水揚げされる水産物の仕入金額の50%以上を安定的に調達すること。</p> <p>→ 主に4月から11月は、県内しらす、12月から3月は、他県産原料を使用している。仕入れの割合は、平成25年度が、71.20%、平成26年度が94.73%、平成27年度が57.20%、平成28年度が100%、平成29年度が79.40%であり、安定的に県産原料を調達し、要件を満たしていることから、評価できるものである。</p> <p>(イ) 高度な生産管理により、加工品の安全性が高い施設（HACCP及びHACCPに準じた高度衛生管理対応の施設）であること。</p> <p>→ 以前から食の安心・安全にも積極的に取り組み、既存施設は、「しらす・ひもの業界世界初の「ISO22000（食品安全基準の最高峰）（2007年取得）」や2010年に「いばらきHACCP」を取得している。</p> <p>水産業共同利用施設復興整備事業で整備した施設においても、2018年8月に「ISO22000（食品安全基準の最高峰）」や2012年に「いばらきHACCP」を取得するなど、「我が子に安心して食べさせることのできる商品づくり」をモットーとするなど、高度な生産管理による加工品の安全性が高い施設になっており、評価できるものである。</p>

イ その他、地域の児童や消費者に理解しやすい施設として、近隣の学校や一般の方への工場見学等の受入れを積極的に行うほか、より食の安心・安全を意識した商品を製造し、海外への輸出や地域給食、介護食などへの販売拡大や新規雇用による雇用機会の創出など、様々な取組みを行っており評価できるものである。

② コストに関する調査・分析・評価

建設の業者選定においては、3社から見積りを取り、工事内容や建設費等の内容を比較し、経済性及び施工性の容易性等を検討した上で、建設業者を選定していることから、事業費・コストは妥当であったと評価できるものである。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

東日本大震災後の影響から、しゅん工日が変更になったが、それ以外は、概ね予定通り事業が進められており、評価できるものである。

公 募 期 間：平成 24 年 9 月 10 日（月）から平成 24 年 9 月 24 日（月）

事 業 説 明 会：平成 24 年 9 月 12 日（水）

実施主体事業者決定日：平成 24 年 10 月 17 日

契 約 日：平成 25 年 1 月 15 日

着 工 日：平成 25 年 2 月 1 日

しゅん工日：平成 25 年 5 月 9 日

平成 25 年 3 月 31 日予定であったが、東日本大震災以降、被災地に建設労働者が移動したため、建設労働者の不足と資材調達が困難となったことから、施設整備工事の工期が遅れたため、しゅん工日が平成 25 年 5 月 9 日に変更となった。

事業担当部局

茨城県日立市産業経済部農林水産課 電話番号：0294-22-3111（内線 472）